

説教余滴 2018年5月20日、イワシャジン（岩紗参）

札幌の隣町、北広島市に植木村があります。植物・園芸店の団地になっています。

その中に「岩崎園芸」という店があります。その筋では、よく知られた大きな店のようでした。全国から注文が来るそうです。この店は、高山植物、山野草に特化しています。

コマクサの名前は、よく知られていますが、実物はなかなか見ることができません。

この店で買い求め、贈り物にしたことがあります。イワシャジンもそうした野草の一つです。お好きな方が居られたことを思い出し、差し上げました。喜ばれました。私自身は、その花を見たことはありません。どんな花かなア、と考えていました。

4月のある日、トンネルの手前、石川さんの門前に「イワシャジン」と書かれた苗が一鉢、置かれていました。頂いて、掲示板の下に置きました。茎が伸びてきました。花芽が膨らんで、開きました。一本だけですが、きれいな紫色の花です。9～10月が開花期とされています。狂い咲きにしても早すぎます。来年は見られないでしょう。今、しっかり御覧頂きたい、と願います。

イワシャジンはやや大型の多年草で、関東地方南西部や中部地方南東部の山地の岩場に見られます。秋に紫色の釣り鐘形の花が、岩場から垂れ下がるように開くさまはとても風情があり、人気の高い山野草の一つです。

地下にゴボウ根を束ねたような根茎をもち、春の芽出し後に、株元に栄養葉と呼ばれるスぺード形の葉を広げます。その中心から、細い茎と糸状の葉を立ち上げて、茎の先端から花芽を伸ばします。夏の間には花芽が成長し、秋には次々と花を咲かせます。花が終わると、茎は枯れて再び栄養葉を広げます。このときに早いものでは結実しています。冬前には栄養葉も枯れて休眠します。この仲間は地域変異が多く、それだけ集めても楽しいものです。